

Effects of high fructose intake on liver injury progression in high fat diet induced fatty liver disease in ovariectomized female mice

大橋, 朋子

<https://hdl.handle.net/2324/4474963>

出版情報 : Kyushu University, 2020, 博士 (医学), 課程博士
バージョン :
権利関係 : (c)2018 Elsevier Ltd. All right researved.

(別紙様式2)

氏名	大橋 朋子			
論文名	Effects of high fructose intake on liver injury progression in high fat diet induced fatty liver disease in ovariectomized female mice			
論文調査委員	主査	九州大学	教授	山浦 健
	副査	九州大学	教授	石神 康生
	副査	九州大学	教授	加藤 聖子

論文審査の結果の要旨

非アルコール性脂肪肝疾患 (NAFLD) の罹患数は閉経後女性で増加しており、慢性の高フルクトース摂取はNAFLDを進行させるといわれている。今回、卵巣摘出したマウスで高フルクトース摂取が肝疾患増悪に与える影響を評価した。

NAFLD患者を模するために、マウスに高脂肪食を摂取させ肥満状態とした。結果、フルクトース摂取、卵巣摘出いずれもNAFLDを進行させた。しかしながらフルクトース摂取、卵巣摘出の共存はより強く肝障害を進行させ、肝線維化を増悪させた。

今回の結果により、高フルクトース摂取がエストロゲン欠乏下でのNAFLDの進行を促進させると考えられた。

以上の成績はこの方面の研究の発展に重要な知見を加えた意義あるものと考えられる。本論文についての試験はまず論文の研究目的、方法、実験成績などについて説明を求め、各調査委員より専門的な観点から論文内容及びこれに関連した事項について種々質問を行ったが適切な回答を得た。

よって調査委員合議の結果、試験は合格と決定した。